

バス停留屋根設置

循環バス停の屋根・ベンチ設置状況は

町 引き続き協議を進めていく



岡村 繁範 議員

坂町第2次地域公共交通網形成計画のバス停への屋根・ベンチの設置の進捗状況および今後の設置計画は。

議員 現在まだ検討段階というのは事業計画と比較し大きな乖離があるが、改めて収支も鑑み、今後の計画は。

都市計画課長 現在の赤字状況において新たな設置の計画はないが、今後の道路形態や各停留所の乗降数の変化などを考慮し、地域公共交通会議、循環バス検討委員会でも引き続き協議を重ねる。

町長 バス停留所の第2次地域公共交通網形成計画は令和2年度に策定した目標を明記した計画書である。上屋・ベンチの設置は、道路幅員、場所の確保および歩行者の安全を最優先におきながら、利用者の状況、また地域からの意見なども勘案しながら協議を進めていく。



屋根やベンチが欲しいなあ

歩道拡幅

国道31号歩道拡幅と関連事業の進捗状況は

町 総頭川交差点改良事業と同時並行で進める



中川 ゆかり 議員

進捗状況は。

議員 2つの事業は、同時並行して進めていることから、関係者への協議や交渉を国と協力して進める。

議員 歩道拡幅のイメージは。 北新地運動公園側の歩道から高尾橋交差点方向へ埋め立て延伸するイメージのようである。

技監 埋め立てに必要な環境調査については、すでに

技監 埋め立てに係る環境アセスメントの実施は。

町長 坂歩道拡幅整備事業は、関係機関と協議を重ねて予備設計を行っている。令和6年度から詳細設計を進め、その後、公有水面埋め立ての本申請を行い、承認後に工事着手予定と聞いている。総頭川交差点改良事業は、現在、予備設計を行い、昨年度から地権者に対し説明を進めている。今年度は引き続き説明を進め予備設計、用地調査を行う。



4車線化・歩道拡幅整備予定箇所

地域共生社会

地域共生社会に向け 中核機関の設置を

町 保健・福祉の拠点を令和6年度に開設



光岡 美里 議員

成年後見制度などに関する中核機関について、現状や課題、今後の取り組みは。

議員 各種機関が緊密に連携できる地域連携ネットワークづくりと、それらを支援するための中核機関を築いていくことが必要と考えている。

議員 成年後見の町長申し立ての背景は。

保険健康課長

令和に入ってから増加傾向にある。ケアマネジャーや入所施設の職員からの相談で、町長申し立てにつながっている。

情報発信施設

ベイサイドビーチ坂に情報発信する施設を

町 新たな施設整備でなく、様々な媒体で魅力発信を進める



奥村 富士雄 議員

ベイサイドビーチ坂に物販飲食施設が開店し、賑わっているが特産品コーナーの現状は。

町長

ハード施設の建設は慎重に検討が必要だが、かき小屋、特産品販売所、キャンプ場、クラフトビルなど、坂町ならではの新たな仕掛けづくりを思い描いている。地域おこし協力隊には、特産品販売所の計画、立ち上げの任務を委嘱し、川本町や近隣市町の特産品など地場産品の販売方法を検討している。

議員 坂町に関する魅力ある情報発信コーナーの整備が必要では。

町長

情報発信の施設整備は、当面考えていない。誘客、関係人口の誘致、人とお金の流れを町内に波及できるように、様々な媒体での情報発信の充実を図る。

町長 現状は、高齢者が高齢者を介する「老々介護問題」、介護と子育てを同時に行う「ダブルケア問題」、高齢者が無職の子どもを養う「8050問題」など福祉的な課題が生じており、様々な角度から支援を行ってきたい。

成年後見人とは 認知症や知的障害などで判断能力が充分ではない方に代わって財産を管理する人のことです。成年後見人は、本人に必要な契約をしたり、不要な契約を解約することができ

認知症・精神障害・高齢者の保護・支援

詐欺や悪徳商法から守ります！



議員 現在の小規模なコーナーでなく、安芸郡や広島市、川本町などの物産を取り扱う魅力ある地場産品物産館などの整備が必要では。



「山の日」 県民の集いでのにぎわい